

施策番号	1701												
施策名	市民の健康づくり活動の推進												
概要	すべての市民が、生涯を通じて運動、栄養、休養、禁煙、口腔ケアといった心身の健康づくりに取り組むため、行政と保健医療関係機関、地域、企業が連携して環境整備を進める。												
担当局・部室	保健福祉局・保健衛生推進室	共管局・部室											
上位政策	17 保健衛生・医療												
施策に関する主な分野別計画等	京都市民健康づくりプラン（第2次）、京都市たばこ対策行動指針（第2次）、京都市口腔保健推進行動計画、健康長寿のまち・京都食育推進プラン、きょういのちほっとプラン—京都市自殺総合対策推進計画—												

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	26年度	27年度	28年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1 日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合(%)	-	a	52.8	52.9	49.8	106.2%	a	1.00
2 自殺による死亡者数(人)	a	a	248	231	252	108.3%	a	1.00
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
	a	a	客観指標総合評価				a	/

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	27年度	28年度	28年度回答						
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言ふとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	評価
1 正しい情報を基に、健康づくりに取り組むひとが増えている。	b	b	46	203	148	46	27	470	b
			9.8%	43.2%	31.5%	9.8%	5.7%		
2 -	-	-							-
3 -	-	-							-
4 -	-	-							-
5 -	-	-							-
	b	b	市民生活実感調査総合評価						b

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	a	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	b	
(重み付けの理由) 健康づくりの推進に当たっては、市民一人一人の意識を高める必要があるため、市民生活実感調査を重視する。						27年度 B
(原因分析) 客観指標総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。						26年度 B
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。						

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		28年度事務事業評価結果における目標達成度評価	担当局
		27年度 決算額	28年度 予算額		
1	保健事業（国保会計）	1,192,477	1,250,970	普通	保健福祉局
2	後期高齢者健康診査	317,872	331,047	良い	保健福祉局
3	はり・きゅう・マッサージ施術費助成事業	11,430	13,586	普通	保健福祉局
4	保健所資格職等調査研究推進事業	34,884	35,973	良い	保健福祉局
5	京都市民健康づくりプラン普及及び推進事業	4,173	4,534	良い	保健福祉局
6	栄養改善事業	55,912	58,603	普通	保健福祉局
7	難病患者支援事業	85,011	75,619	悪い	保健福祉局
8	骨髄移植等推進事業	4,728	9,419	良い	保健福祉局
9	健康づくりサポート事業	132,365	126,830	普通	保健福祉局
10	生活保護受給者等健康診査	13,270	15,546	良い	保健福祉局
11	医師会・歯科医師会健康づくり事業補助金	19,741	19,753	普通	保健福祉局
12	高齢者筋力トレーニング普及推進ボランティア養成講座	10,301	12,410	良い	保健福祉局
13	高齢者筋力トレーニング普及推進事業	30,242	37,088	普通	保健福祉局
14	食育推進事業	59,089	55,372	良い	保健福祉局
15	地域献血会事業	18,273	17,955	良い	保健福祉局
16	食育指導員活動推進事業	30,179	31,058	良い	保健福祉局
17	家族介護者向け医療的ケア・口腔ケアの実践研修事業	3,850	5,354	普通	保健福祉局
18	熱中症予防啓発事業	13,216	12,572	普通	保健福祉局
19	お風呂屋さん再発見事業	7,087	5,338	普通	保健福祉局
20	鉱泉源保護設備補修等補助金交付事業	15,832	9,367	かなり悪い	保健福祉局
21	環境衛生対策補助金	15,156	15,180	普通	保健福祉局
22	健康診査事業	52,634	53,784	良い	保健福祉局
23	生涯を通じた歯の健康づくり	47,042	48,829	良い	保健福祉局
24	お口の健康サポート事業	51,716	52,744	普通	保健福祉局
25	介護予防普及推進事業	17,281	17,281	普通	保健福祉局
26	がん対策	564,279	560,532	普通	保健福祉局
27	健康長寿のまち・京都推進プロジェクト	0	53,282	—	保健福祉局
28	京都市ラクト健康・文化館	16,991	16,991	—	建設局

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- 市民の健康寿命の更なる延伸を図り、平均寿命に近づけるため、平成28年5月に幅広い市民団体、関係機関等の参画により発足した「健康長寿のまち・京都市民会議」と連携し、市民が健康づくり活動の達成感を得つつ、習慣化していくための仕組みづくりとして、活動の「見える化」を図る「健康ポイント事業」を実施するなど、市民が主体となる健康づくりの取組を推進していく。

施策名	1701	市民の健康づくり活動の推進		
指標名	日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合 (%)			
担当課	保健医療課		連絡先	222-3419
1 指標の説明 特定健診において、日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していると回答した市民の割合				
2 指標の意味 生活習慣の改善による健康づくりの成果を示す指標		3 算出方法・出典等 算出方法：京都市国民健康保険特定健康診査受診者実績から、日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していると回答した市民の割合 出典：事業担当課調べ		
4 数値				
	前回数値 25年度 数値	最新数値 26年度 52.8	推移 0.1ポイント増	目標値 根拠 達成度 中長期目標を達成するため当該年度達成すべき数値 106.2%
	全国順位 数値	52.8	中長期目標 目標年次 29年度 100.0%	根拠 京都市民健康づくりプラン(第2次)に掲げる目標
				備考 京都市民健康づくりプラン(第2次)に基づく指標に変更。データ公表時期の関係から、平成26年度数値が最新値となる。
5 評価基準		6 基準説明 最新数値の目標値に対する達成度が a: 90%以上 b: 85%以上～90%未満 c: 80%以上～85%未満 d: 75%以上～80%未満 e: 75%未満		
		当該指標については、市民一人ひとりの健康づくりの取組による影響が大きいことから、目標達成度90%以上をa、以下5%刻みで基準を設定した。(24年度47.8%，25年度48.8%，26年度49.8%，27年度50.8%，28年度51.8%)		
7 評価結果				
	26 -	27 a	28 a	
指標名 自殺による死亡者数（人）				
担当課	障害保健福祉推進室		連絡先	222-4161
1 指標の説明 当該年度京都市における自殺による死亡者数				
2 指標の意味 市民のこころの健康状況を示す指標		3 算出方法・出典等 算出方法：京都市における年間自殺者数（1月～12月の年間統計値） 出典：厚生労働省人口動態統計		
4 数値				
	前回数値 26年度 数値 248	最新数値 27年度 231	推移 17人減	目標値 根拠 達成度 平成28年度に240人以下とするために当該年度達成すべき数値 108.3%
	全国順位 数値	240以下	中長期目標 目標年次 28年度 103.8%	根拠 京都市自殺総合対策推進計画
				備考
5 評価基準		6 基準説明 最新数値が、 a: 目標値以下 前回数値と比較して b: 10人以上の減少 c: 変わらず（±10人未満の増減） d: 10人以上20人未満の増加 e: 20人以上の増加		
		当該指標については、様々な社会的要因による影響が大きいため、目標値以下をaとし、以下、前年度との比較で10人刻みで基準を設定した。		
7 評価結果				
	26 a	27 a	28 a	